

# かんまき



# 社協だより 第40号 (H24.10)

発行者：

上牧町社会福祉協議会

〒639-0214

上牧町上牧3245-1

TEL (76) 6098

FAX (79) 0895

<http://kamishakyo.web.fc2.com>



写真は子育て支援事業「おひさま広場」の様子。  
0～3歳児を対象に地区や年齢別に分かれたクラスで遊びや工作などを行い、お母さん同士の交流や子どものなかまづくりなどを行っています。

9月のおひさま広場は、小地域ネットワークに協力していただき折り紙などの伝統遊びを楽しみました。

## 目次

あなたのまちの	
小地域ネットワーク	2
地域福祉活動計画経過報告	4
ボランティア交流会	5
共同募金運動	7
おしらせ	8

**上牧町小地域ネットワーク  
活動紹介**

『小地域ネットワークとは？』

誰もが自分が住む地域で安心して暮らせる地域づくりを目指した活動です。上牧町では8つの地域で小地域ネットワーク活動が行われています。

各地域の暮らしの課題に着目し、人と人とのつながりを大切にする活動が行われています。



『かりん』

かりんは、桜ヶ丘2丁目で開催中のネットワークです。

このネットワークは自治会や子ども会と連携し、異世代交流を大切に様々な行事を行っています。「餅つき大会」や「軽スポーツ大会」「ウォークラリー」では子どもたちの参加が多く、活気のあるイベントとなっています。特に「ウォークラリー」はクイズが有り、子どもでないと答えられない質問があり、大人を悩ませています。

また、社協まつりや桜ヶ丘祭りでは「一銭焼き」を出店され、いつも長蛇の列の人気店です。

『桜三会』

桜三会は桜ヶ丘3丁目で開催しているネットワークです。この地域は高齢化率40.6%ですが世話人の方々のパワーには驚かされます。

今年の交流日帰り旅行では「伊賀の里モクモク手作りファーム」へ出掛け、地域での横のつながりづくりを行ったり、これから訪れるであろう介護への理解を深めるため専門家を招いての研修会を開催したりしています。

季節行事として「観桜会」「お月見食事会」「餅つき大会」では楽しいお喋りに華を咲かせた地域の方々との交流を深める活動をされています。

『さくらんぼクラブ』

さくらんぼクラブは、桜ヶ丘1丁目のネットワークです。バスのロータリーの花壇で季節の花々を咲かせ地域住民に癒しを提供しています。

また、異世代交流を大切にし、自治会や子ども会とのコラボで様々な事業展開を行っています。「お花見餅つき大会」「フ

ロアカーリング大会」などがそのイベントです。そして「手作りお菓子のバイキング」では色々な種類のお菓子を世話人自ら手作りされ、おいしいお菓子とお茶がサロンを盛り上げます。会長は「地域に文化を！」と世話人の方々と共に地域の活性化に取り組んでおられます。

『滝川台ネットワーク』

滝川台ネットワークはその名のとおり滝川台での活動を行っています。地域にある様々な団体と連携し、「思いやりのあるやさしいまち」の実現を目指し、地域の人々の生き甲斐をサポートされています。

春は「お花見ウォーキング」で地域住民の方々と散策を楽しみ、夏は「七夕祭り」や「夏休みお楽しみ会」で子どもたちと共に楽しいひとときを過ごします。この地域も防犯防災に関心

があり防災減災の講座を開催されていきます。文化的な趣味の集まりやサークル活動も盛んです。会長は「この地域はどんな子育て世代が増えてきています。イベントをすると子どもたちが多く活気のあるものになります。」とおっしゃっていました。

『虹の会』

虹の会は米山台で活動しているネットワークです。

ふれあいサロンでは地域住民の方々との交流を大切に活動されています。毎月米山台老人憩いの家が集まり、「クイズ大会」「指先の体操」など楽しいひとときを過ごされています。

「馬見丘陵公園での散策」では菖蒲池の庵でさわやかな時間を皆で過ごします。そして異世代交流では「昔遊びや伝承遊び」を子どもたちに提供したりして

います。

また、外部講師を招き「健康講座」の開催も積極的に行う活気のあるグループです。年の初めには初釜を催し、日本文化に触れていただく機会も提供されています。

『ふれあいの会』

ふれあいの会は松里園で活動しているネットワークです。この会は地域を大切にするイベントが多く、「我が町ウォーキング」「地区文化祭」など、町を知り楽しめる交流の場があります。また、「七夕祭り」など若男女が交流出来る場なども提供しています

『緑が丘ネットワーク』

緑が丘ネットワークは上牧町で最も新しいネットワークです。

去年までは農園でさつまいも

などを栽培し、収穫時は地域住民の方々と作業し楽しいイベント開催をされていました。

今年からは防災を中心に活動されていて、自治会との連携により防災訓練も行い減災に取り組んでおられます。また、子供たちとの交流を深めるために読み聞かせの活動も行っています。

『遊ing to FUN』

遊ing はつとりは服部台で活動しているネットワークで会長を中心に自治会やシルバークラブとの連携を図り運営が行われています。

「桜祭り」「夏祭り」や「地藏盆」など季節の行事など住民が交流しやすくするために頻繁に活動が行われています。地域住民のつながりをより深くより楽しいものになるよう、一人でも多く戸外へ出てくる事のでき

るよう楽しい活動をも目指し展開されています。

小地域ネットワーク活動を始めてみませんか

上記の8ネットワークは上牧町小地域ネットワーク連絡会に所属し、毎月定例会を行っています。定例会では各ネットワークの近況報告や情報交換、研究会などを実施しており、社会福祉協議会も参加して活動の継続と発展を支援しています。

貴方の住む地域で住民のつながりが薄くなってきたりと感じたり、助け合いの必要性を感じたりすることはありませんか。社会福祉協議会では地域住民が自らの手で地域を変えていくお手伝いをしています。ネットワークについてもう少し詳しく知りたいと思われる方は社会福祉協議会にお問い合わせください。

**地域福祉活動計画  
策定経過報告**

6月から策定作業の始まった社会福祉協議会の地域福祉活動計画。ここでは、その策定経過について紹介したいと思えます。

**前回までの経緯**

地域福祉活動計画とは社会福祉協議会が作成する計画で上牧町内の地域福祉課題について、社協としてのように取り組んでいくかを定めたものです。今回の計画策定は上牧町社会福祉協議会にとっては初めてのものであり、平成25年度からの3カ年計画として策定作業が開始されました。

計画策定期間は平成24年度1年間。比較的短期間での計画策定となるので、今回の計画は総論的なものではなく、まず取り組まなければならない重点項目に特化して策定する。

以上が前回の策定委員会で確認されています。

**第2回策定委員会**

7月27日に第2回策定委員会が開催されました。この会議では計画策定に向けてのより具体的なスケジュールが検討され、平成25年3月の完成までの期間を①ニーズ把握（7月～11月）、②ニーズに基づく計画作成（11月～1月）、③計画の周知（2月～3月）の3つに分けて準備を進めていくことが確認されました。

ニーズ把握については、8月～9月にかけて「福祉のまちづくりに関するアンケート調査」と福祉関係10団体へのヒアリング調査を実施。10月～11月にアンケート結果などを資料としていただくかの地域で住民懇談会を実施することとなりました。

住民懇談会については、旧村地区、新興住宅地区など地域累計ごとに実施すること。計画策

定後も継続して住民懇談会を実施していくことなどが話し合われました。

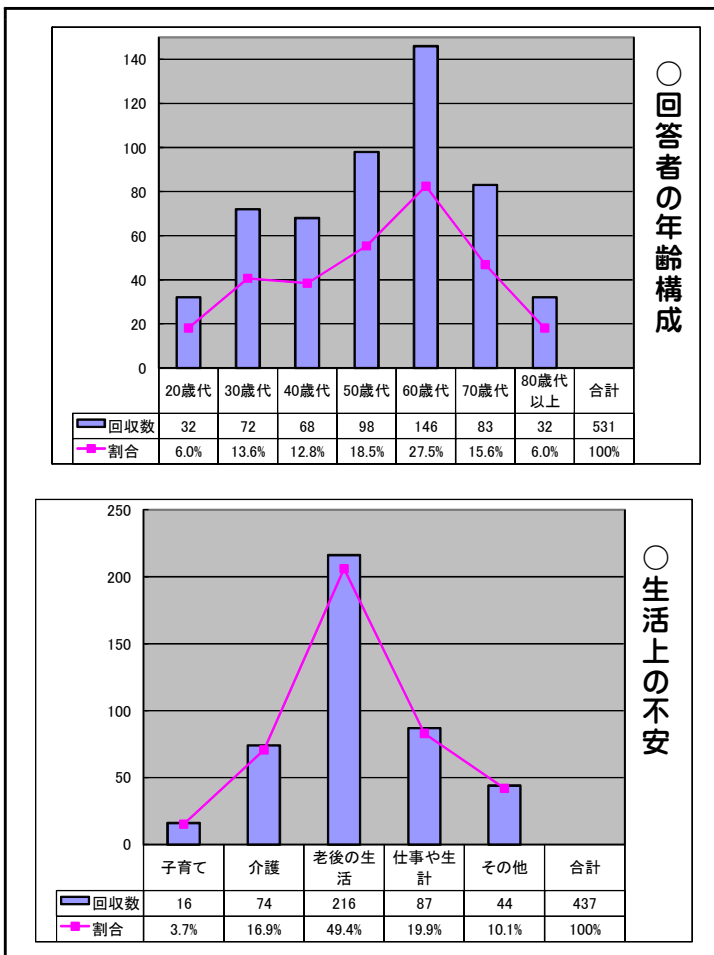
**アンケート調査**

「福祉のまちづくりに関するアンケート」は町内全世帯数の10%超を対象として、町内在住の20歳以上の1,000名を無作為抽出し、調査票を郵送する郵送法により実施しました。この結果、約53%（531名）

という郵送法としては異例の高い回答率となりました。このことは住民の皆さんが地域福祉に對して高い関心を持っていることとの表れだと考えます。

アンケートにご協力いただいた住民の皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

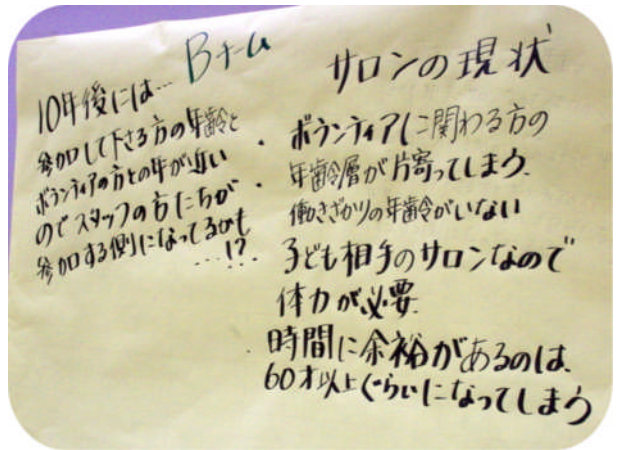
以下にアンケート結果の一部を紹介します。（詳細は後日ホームページ上でご報告します。）





**10年後の未来を創る  
ボランティア交流会**

8月29日上牧町2000年  
会館で王寺町・河合町・上牧町  
の3町社会福祉協議会が合同で  
ボランティア交流会を開催しま  
した。当日は、3町内にお住ま  
いボランティアさんとコーデ  
イネーター役として、脇坂 博史  
氏（桃山学院大学ボランティア  
活動支援室ボランティアコーデ



イネーター）をお迎えいたしま  
した。  
昨年引き続き2回目となる  
今回の交流会は、活動分野別で  
の交流と情報交換を目的に「1  
0年後を創る未来予想図」とい  
うテーマで開催されました。3  
町あわせて60名の参加者が日々  
の活動の中での課題や工夫を話  
しあいながら、未来を見据えて  
理想とする各自の団体や個人の  
「思い」を語り合いました。  
今回の交流会に参加していた

だったのは、①見守り活動、②  
手話学習・聴覚障害者との交流  
活動、③高齢者や児童などを対  
象としたサロン活動、④活動者  
の「趣味や特技」を活かした慰  
問活動、の4分野のボランティ  
アさんたちで、それぞれの活動  
が10年後にどの様になっていれ  
ばいいかという未来予想図を話  
し合って、それに近づくための  
方法や課題などを話し合いまし  
た。

上記の写真にもあるように最  
初は「10年後なんて想像つかな  
い」というような意見や「10年  
後には私はサロンの参加者にな  
ってるわ」というような意見が  
多くでていましたが、話し合い  
が進むにつれて「10年後も活動  
が継続できるような人材育成が  
必要」や「ろう者が自分から参  
加したいと思えるような地域社  
会にしていきたい」というよう  
な具体的なイメージが現れてき  
ました。そしてその未来予想図

に近づくために必要な取り組み  
として「上牧、河合、王寺など  
近隣のサークルが連携できるよ  
うな関係づくり」や「元気な高  
齢者にボランティア活動に参加  
してもらおう」など様々なアイデ  
アがだされていきました。  
社会福祉協議会もこのような  
交流会を今後も開催し、各ボラ  
ンティアグループとの協力や支  
援について、一緒に考えていき  
たいと考えています。



災害ボランティア活動報告

8月13、14日にかけて、豪雨に見舞われた宇治市への支援として、8月21日に上牧町ボランティア連絡協議会と社会福祉協議会の計3名を派遣し、災害ボランティア活動に従事しました。ある現場では写真のように床下には約20センチほどの泥が堆積しており、男性ばかり8人で約6帖の部屋の泥出しを5時



間かけて行いました。今回のボランティアでは宇治市社会福祉協議会／宇治市災害ボランティアセンターが窓口となっており活動日当日9時の受付開始時には約30名ほどがすでに集まっており、この日は総勢170名のボランティアが活動したようです。右側の写真が洪水の原因となった川です。天井川になっており近隣の家屋よりも高い位置を川が流れていました。



募集



社会福祉協議会では趣味や特技を活かしたボランティアを大募集しています。

「趣味としてやってきたけど喜んでくれる人がいるのなら」、「こんな特技があるんだけど、ボランティアに活かせないかな?」とお考えの方はぜひご連絡ください。

自分の趣味や特技が多くの方を楽しませるボランティア活動になったとすれば、それはとても素晴らしいことではないでしょうか。福祉施設のレクリエーション、町内会のイベント、地域のお祭りなど、みなさんが活躍できる場所はたくさんあります。みなさんの趣味や特技を活かし上牧の福祉を盛り上げましょう!

ボランティアの心は何だろうか?

自分の意志で、無理せず、楽しく、できるところから

- ボランティア5つのモットー
- 1 自発性・自主性  
義理や義務では続きませ  
ん。自主性とやる気が  
1番大事。
- 2 公益性  
地域や社会をよくしてい  
きたい。そんな想いを形に  
きたい。
- 3 無償性  
地位や名誉、必要以上の  
利益とは無関係。信頼と  
暖かな心があれば十分。
- 4 継続性  
続けるうちに新しい学びや  
楽しさを発見出来るはず。
- 5 先駆性  
自分たちのことは自分たち  
で考えて、新しい社会を創  
り出しましょう。



じぶんの町を  
良くするしくみ



今年も10月1日より赤い羽根の共同募金運動が始まります。今年で66年目を迎える共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズに戸別募金や街頭募金などを実施し、住民のみなさんの参加により社会福祉を充実させていくという取り組みです。みなさんからいただいた募金の約70%が町のために、残りは市町村域を越えた広域的な課題

に対して県内で配分されます。この他にも共同募金は災害ボランティアの支援など災害からの復旧、復興支援にも活用されています。



平成23年度の配分

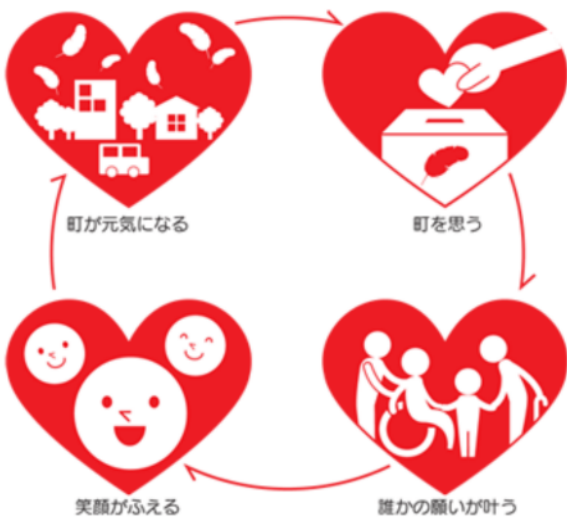
平成23年度の募金は、①小地域福祉活動への助成、②上牧町ボランティア連絡会への助成、③ボランティア講座の開催、④広域的なボランティア活動支援などに配分されました。この他にも広域助成として上牧町内の福祉施設フレンズまきばに福祉施設助成が配分されました。

町内での募金運動

町内では下記のとおり街頭募金を実施します。この他にも町内の各店舗等のご協力いただき店頭に募金箱を設置していただいています。

共同募金運動は、町の人のやさしい気持ちを集める活動です。この活動には全国で年間200万人ものボランティアのご協力をいただいています。町内でも上牧町ボランティア連絡会、小地域ネットワーク連絡会が街頭募金に協力をしていただいています。

募金をする人、募金を支える人、そんなみんなのやさしさが、きっとわたしたちの町をよりよい町へと変えていくはじめの一歩となるはずです。みなさんの温かいご協力をよろしくお願いします。



街頭募金(10時~11時30分)

10月1日：近商ストア、スーパー万代スーパーおくやま  
11月1日：上記及びペガサスフェスタ会場

募金箱の設置にご協力いただいている店舗等

レインボー西大和、近商ストア、スーパー万代、スーパーおくやま、まきのは郵便局、片岡台郵便局、上牧町簡易郵便局、りそな銀行、南都銀行、柿の葉すし本舗たなか、友紘会病院、西大和リハビリテーション病院 (順不同)

**バザー用品を  
お寄せください**

社会福祉協議会では共同募金運動の一環として11月3日に開催されるペガサスフェスタで共同募金バザーを開催する予定です。

これに伴い現在、皆様からの善意のバザー用品のご寄付をお願いしています。

バザー用品としてお寄せいただきたいのは、おもちゃ、雑貨、文具、食器等です。(新品未使用又はそれに近い状態の物をお願いいたします。)

このバザーの収益金はすべて共同募金として奈良県共同募金会へ送金し、上牧町及び奈良県内の社会福祉の振興のために使われます。

バザー用品をご提供いただける方はお手数ですが障害者福祉センターまでご持参ください。ご協力お願いします。

**会費及び寄付金の報告**

平成24年6月16日～平成24年9月15日

上牧町社会福祉協議会では、地域福祉推進のためのご寄附及び会費のご協力をお願いしています。皆様からいただきました寄付金や会費は地域福祉事業に活用させていただきます。なお、いただきましたご寄附については所得税法上の控除の対象になります。ご協力ありがとうございました。

氏名(団体名)	種別	金額
長生会様	一元募金	1,832円
友愛会様	一元募金	1,205円
明朗会様	一元募金	807円
ふれあいの会様	社協まつり	1,000円
からふる様	社協まつり	11,700円
津曲様	寄付	30,000円
ケアサポート上牧様	寄付	30,000円
岡野様	寄付	30,000円
竹之下様	寄付	30,000円
堀田様	寄付	176,500円
在友会様	特別会費	100,000円

(順不同)

万一の災害や予期せぬ自動車事故  
ゆとりあるセーフティライフのために



**笑顔になる  
保険選び**

有限会社 **エナミ総合保険**  
 ■保険代理店  
 東京海上日動火災保険株式会社  
 東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
**0745-73-8189**  
 上牧町片岡台1-6-116 セントラルヒルズ西大和1階  
 エナミ保険 **検索**

各種会合・パーティの企画ご提案  
バラエティ豊かなお弁当のご用命  
も承っております。



空き容器の回収も  
させていただきます。  
パンフレットご希望  
の方は下記まで

※詳しくは、  
ホームページをご覧ください。

<http://www.hana1.co.jp>  
**はないちげん** 0120-871-309  
 株式会社 味の和路 奈良県大和郡山市馬司町696